



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2015 年 10 月 28 日

氏名：白井 洋一

所属機関・職名：海洋研究開発機構・研究員

活動の種類 (該当項目を残す)	3. Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	Expedition 353 Indian Monsoon Rainfall
乗船時の役割	Paleomagnetist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	2015 年 10 月 12 日 ~ 2015 年 10 月 24 日
用務地 (国・都市)	日本・高知
<p>本活動における成果 航海で採取された堆積物コアから、各種分析用のサンプルを採取した。予定されたサンプル数のうち、およそ 8 割を採取することが出来た。一部のコアについては、アメリカ・ドイツでスプライス作成のため XRF 分析中であり、サンプリングを行わなかった。これらのコアおよび残り 2 割のサンプルのサンプリング予定については、継続的に議論することとした。</p>	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2015 年 10 月 27 日

氏名：安藤 卓人

所属機関・職名：北海道大学大学院理学院・D3

活動の種類 (該当項目を残す)	3. Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	Exp. 353 Indian Monsoon Rainfall
乗船時の役割	Sedimentologist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	2015 年 10 月 12 日 ~ 2015 年 10 月 24 日
用務地 (国・都市)	高知県南国市, 高知コアセンター
本活動における成果 10月13-17日, 19-23日の計10日間, 高知コアセンターにて行なわれた Sampling party において, 昨年の11月29日から今年の1月29日まで Joides Resolution 号で行なわれたインド洋ベンガル湾およびアンダマン海における掘削 (IODP Exp. 353) で得られたコア試料の仕分け作業を行なった。今回の Sampling party では, およそ5万試料を超えるリクエストがあり, 乗船研究者を始めとした研究者らは毎日8時半から17時半まで集中して作業を行ない, 10日間でおおよそ4万試料以上の仕分けが完了したとの報告を受けている。また, 時間外では研究者同士での活発な議論が行なわれ, 仕分け作業以外にも有意義な場であったといえる。日本人研究者としては, 日本での開催であったため, 高知コアセンターの設備等のみならず日本文化の良さを国外の研究者に伝える場として重要視し, 高知市内の案内や手助けを極力行なうように努めた。今後, コアセンターを始め日本に多くの国外研究者が訪れるきっかけ作りにも, とても良い機会であったと認識している。	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。